

福島県感染症発生動向調査 月報

Infectious Diseases Monthly Report FUKUSHIMA

2013年1月号

平成25年1月30日発行

目次

STD 疾患

- ・ 性器クラミジア感染症 2～3
- ・ 性器ヘルペスウイルス感染症 4～5
- ・ 尖圭コンジローマ 6～7
- ・ 淋菌感染症 8～9

薬剤耐性菌感染症

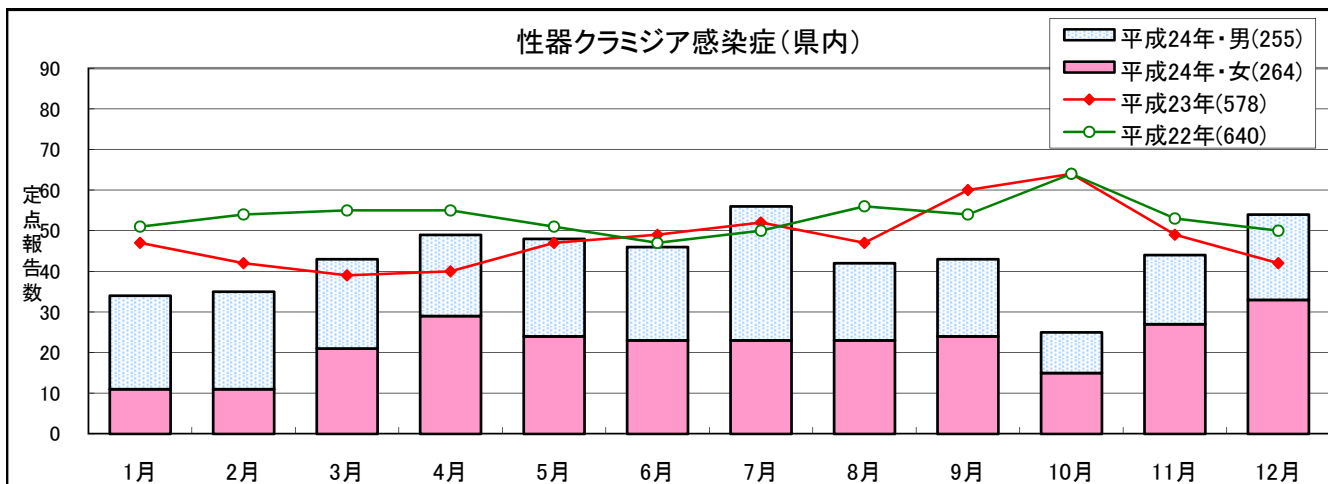
- ・ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 10～11
- ・ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 12～13
- ・ 薬剤耐性緑膿菌感染症 14～15
- ・ 薬剤耐性アシネトバクター感染症 16～17

- 病原体情報 18

福島県衛生研究所感染症情報センター

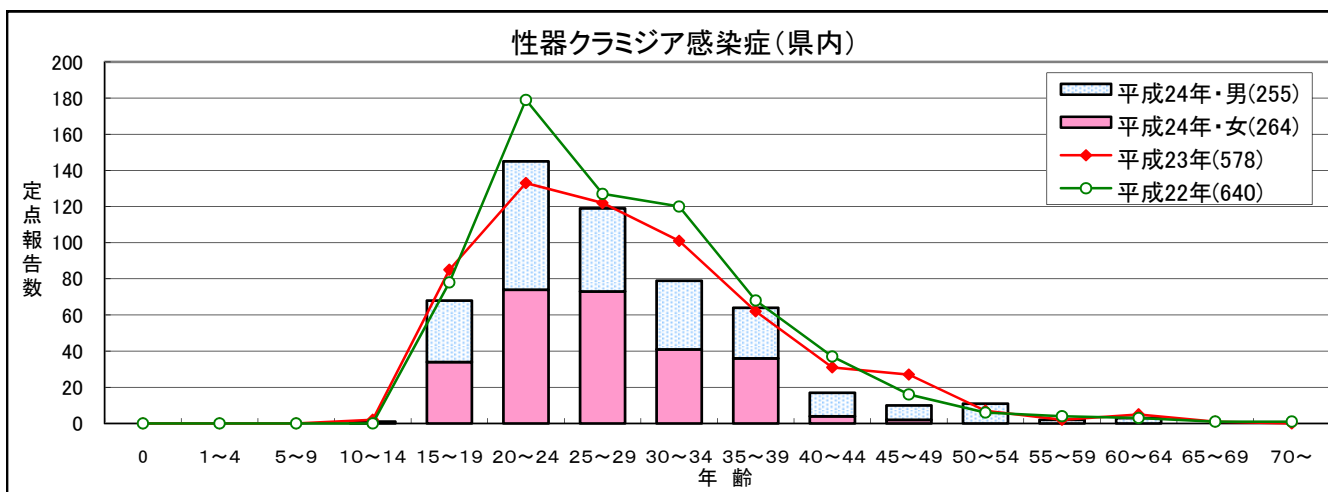
Mail : eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

性器クラミジア感染症

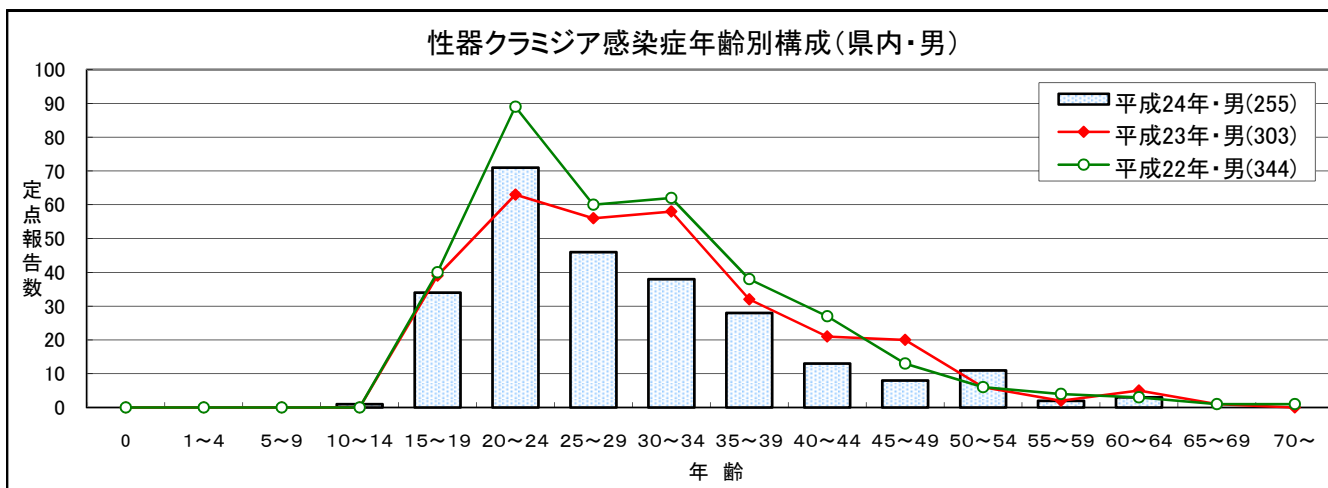


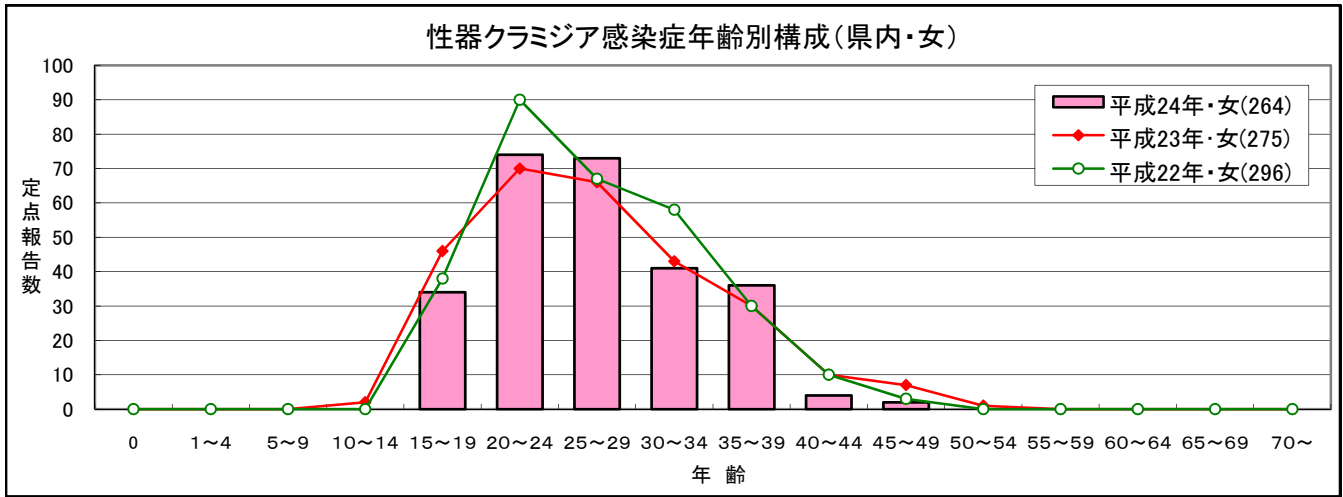
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(255)	23	24	22	20	24	23	33	19	19	10	17	21	255
平成24年・女(264)	11	11	21	29	24	23	23	23	24	15	27	33	264
平成24年(519)	34	35	43	49	48	46	56	42	43	25	44	54	519
平成23年(578)	47	42	39	40	47	49	52	47	60	64	49	42	578
平成22年(640)	51	54	55	55	51	47	50	56	54	64	53	50	640

平成22～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)

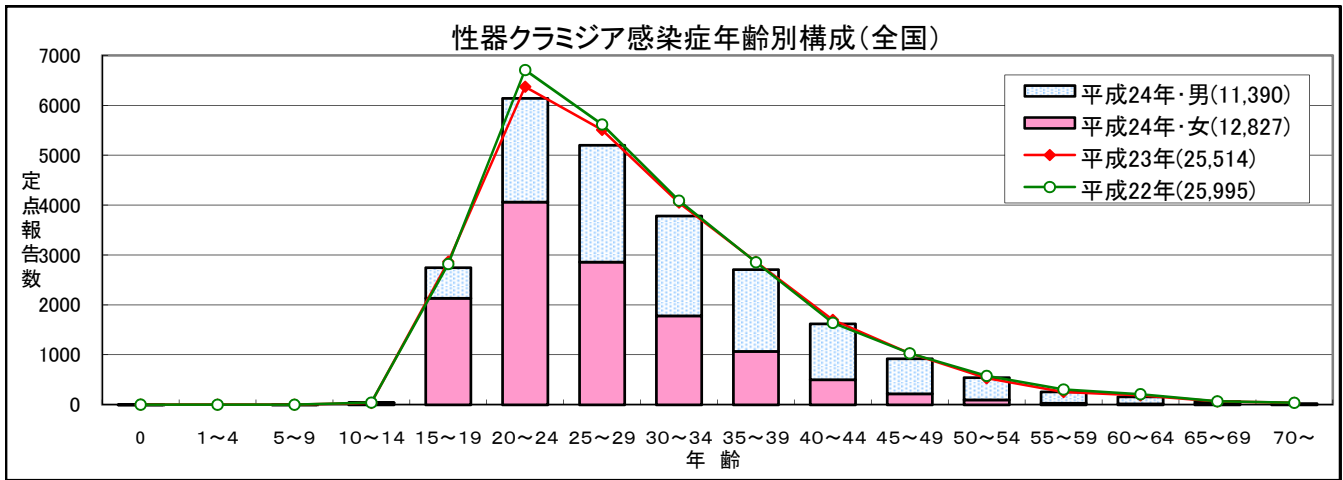


平成22～24年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

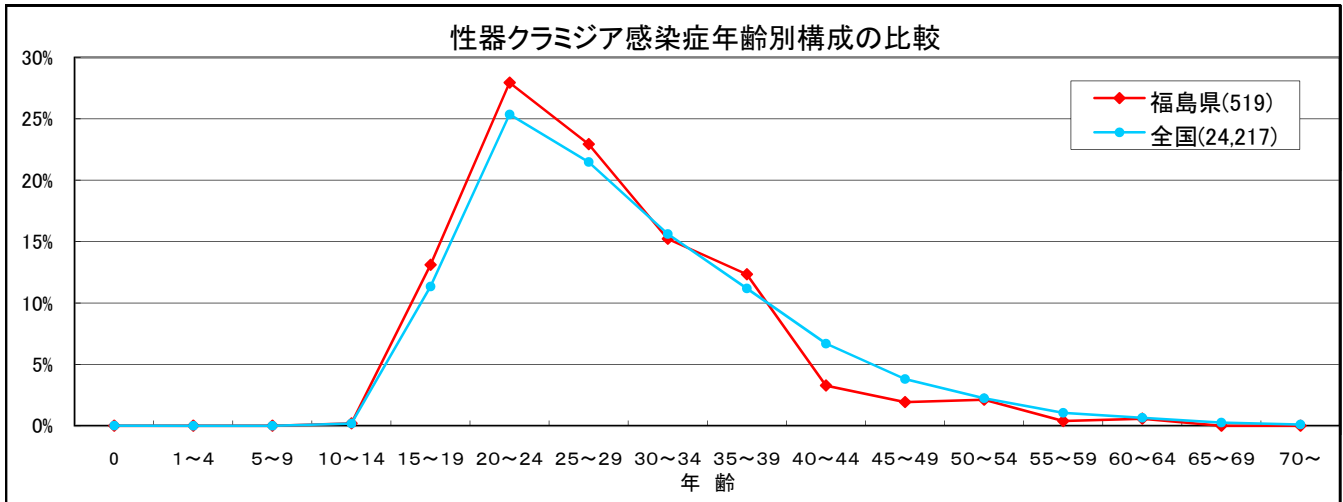




平成22~24年 全国の年齢別構成(1月~12月)



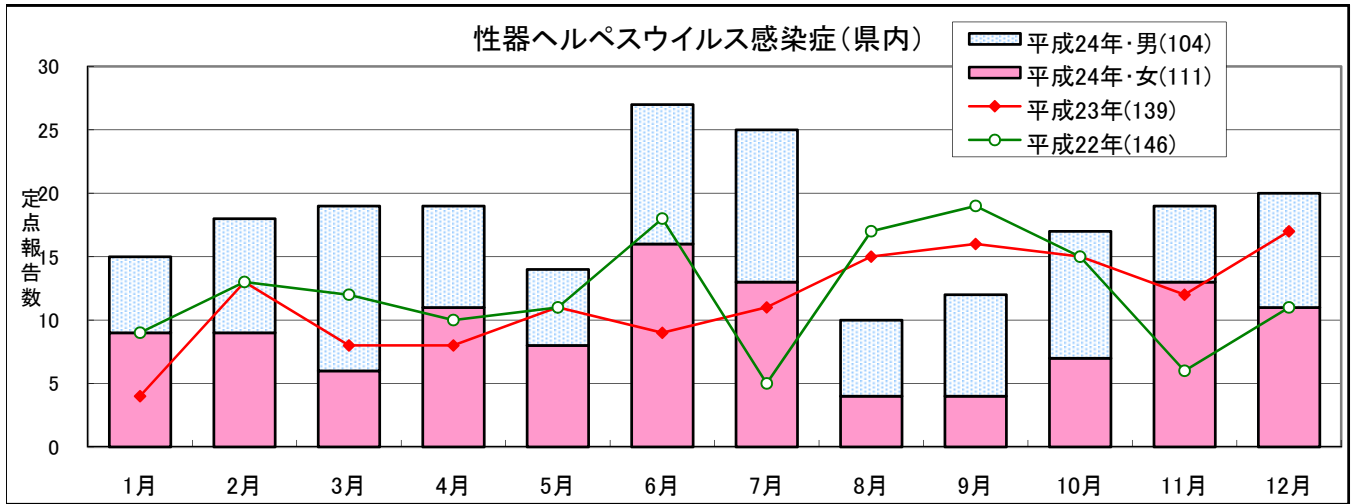
平成24年 年齢別構成の比較(1月~12月)



性器クラミジア感染症コメント

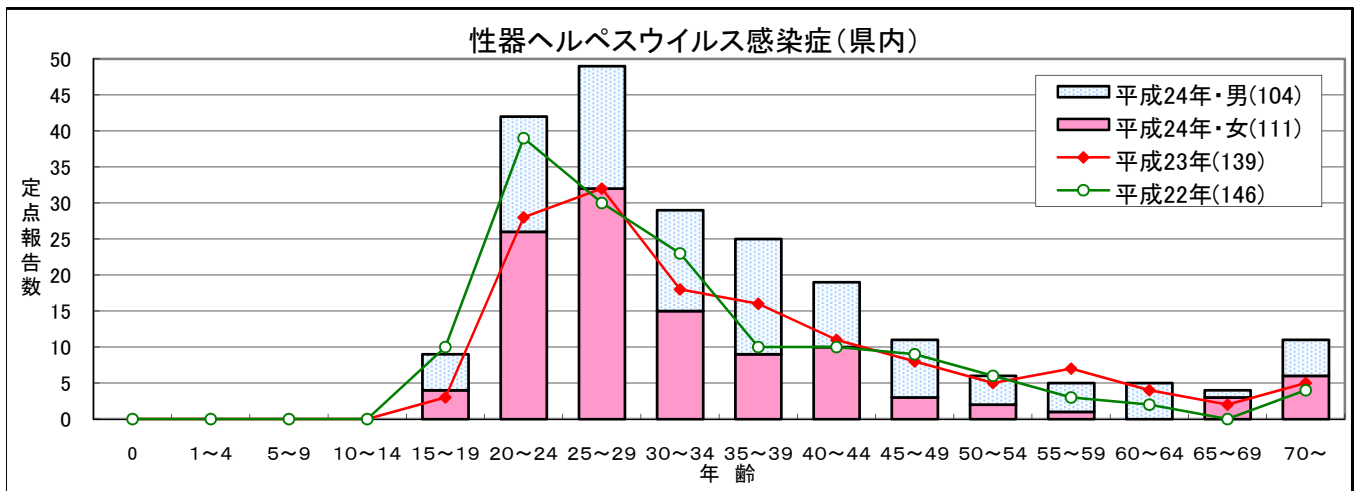
平成24年10月~12月のSTD定点からの患者報告数は、123名でした。
 県内の男女別年齢別構成の比較では、20~24歳の患者が多くなっています。
 また、全国との年齢別構成の比較では、20~24歳の患者の占める割合が高くなっています。

性器ヘルペスウイルス感染症

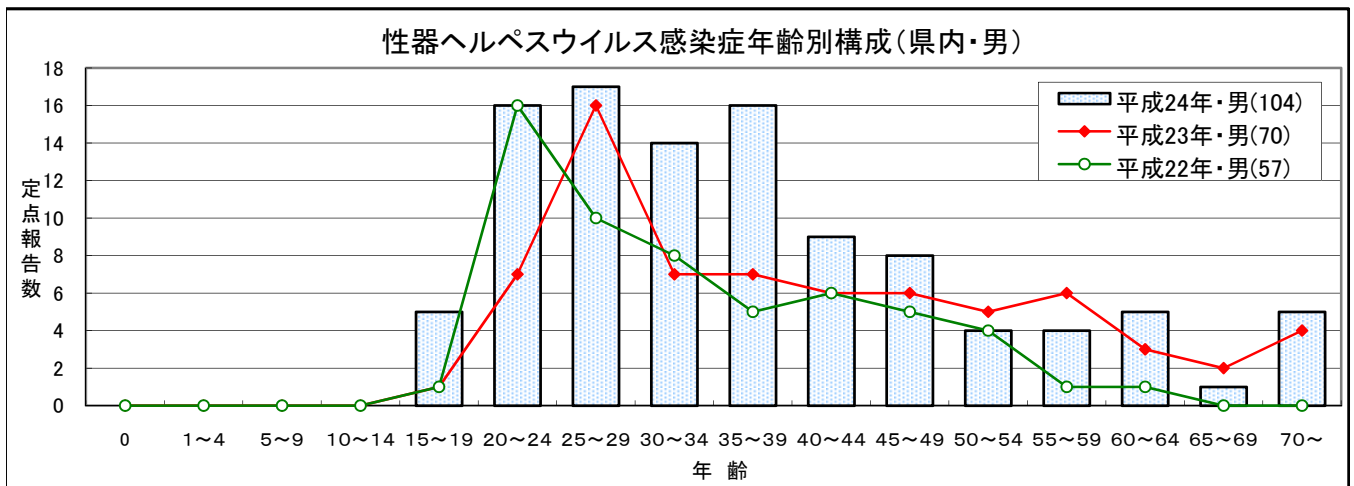


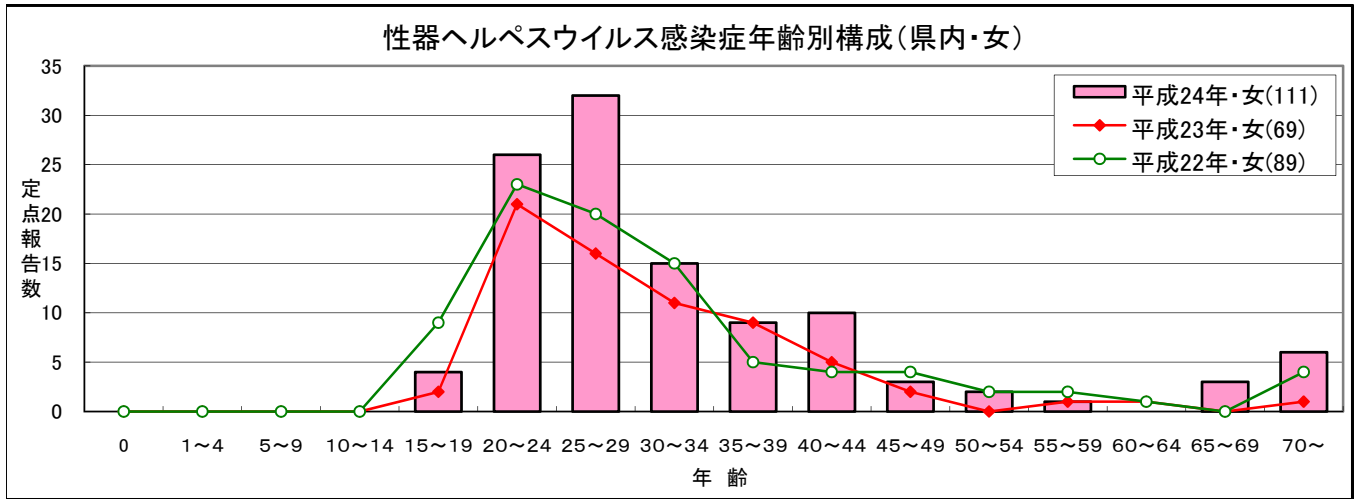
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(104)	6	9	13	8	6	11	12	6	8	10	6	9	104
平成24年・女(111)	9	9	6	11	8	16	13	4	4	7	13	11	111
平成24年(215)	15	18	19	19	14	27	25	10	12	17	19	20	215
平成23年(139)	4	13	8	8	11	9	11	15	16	15	12	17	139
平成22年(146)	9	13	12	10	11	18	5	17	19	15	6	11	146

平成22～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)

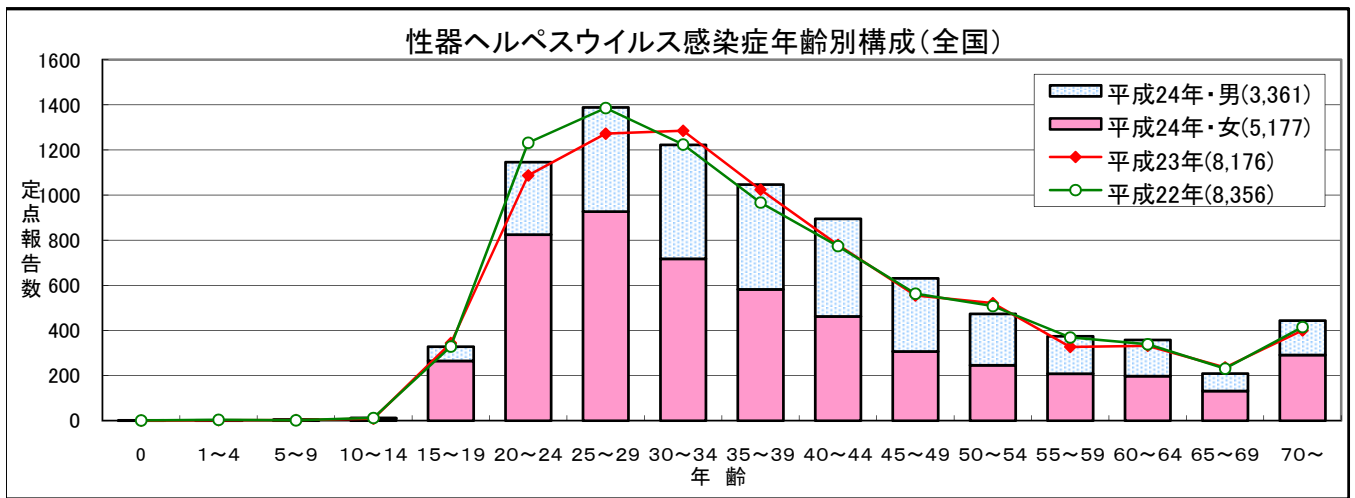


平成22～24年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

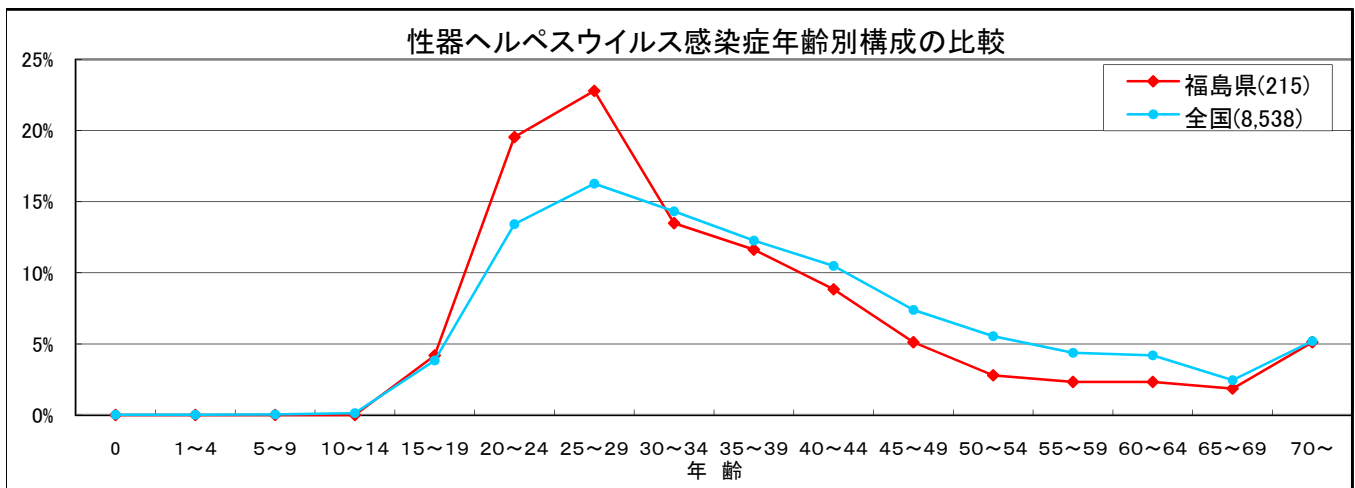




平成22~24年 全国の年齢別構成(1月~12月)



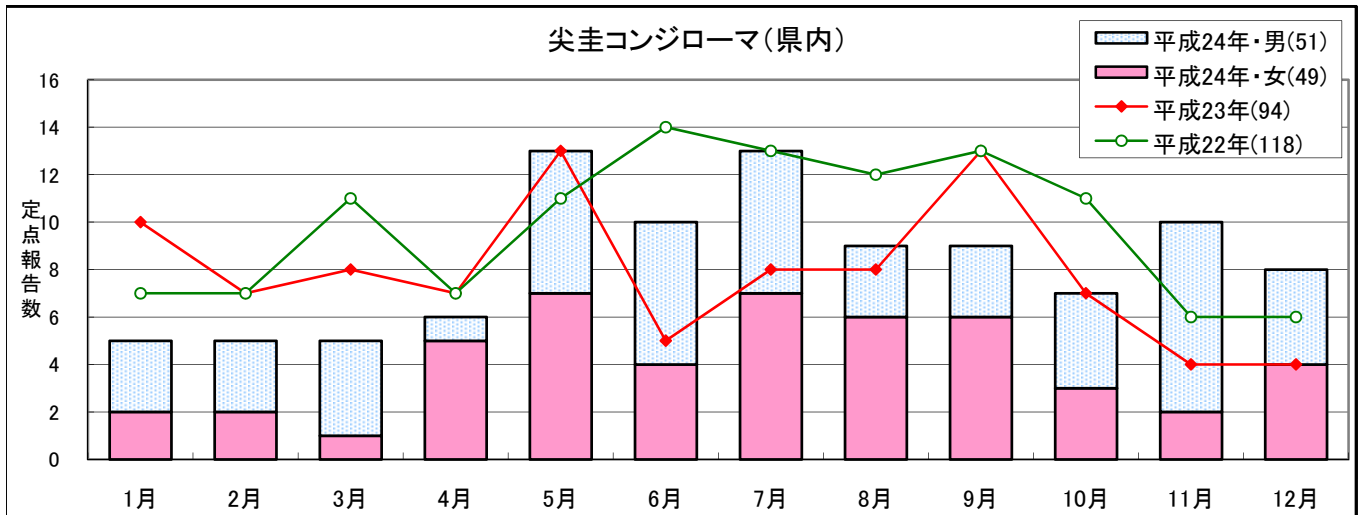
平成24年 年齢別構成の比較(1月~12月)



性器ヘルペスウイルス感染症コメント

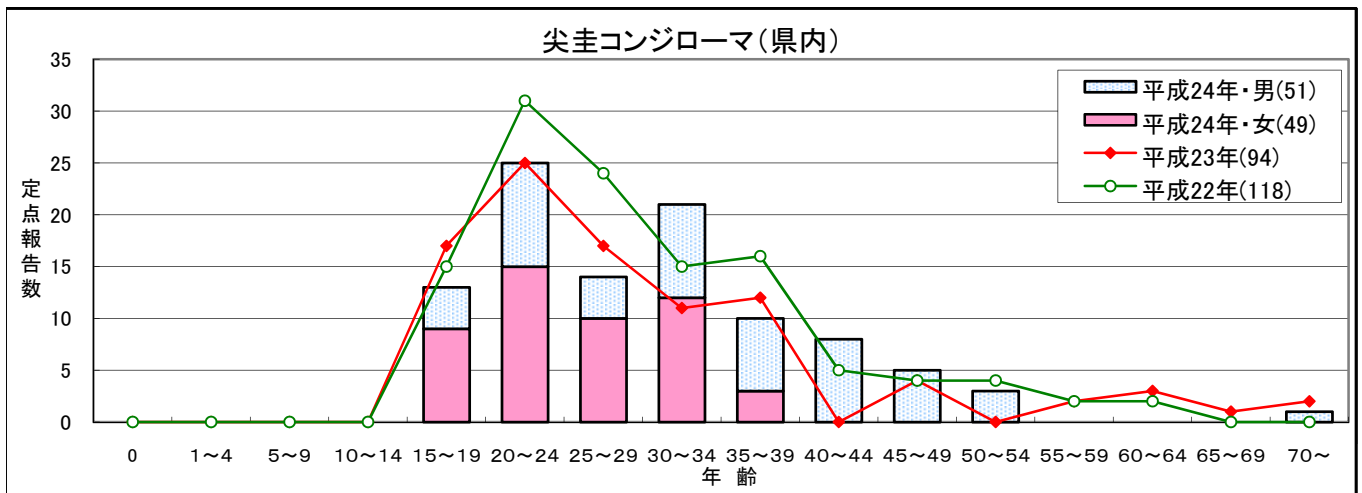
平成24年10月~12月のSTD定点からの患者報告数は、56名でした。
 県内の男女別年齢別構成の比較では、女20~29歳の患者が多くなっています。
 また、全国との年齢別構成の比較では、20~29歳の患者の占める割合が高くなっています。

尖圭コンジローマ

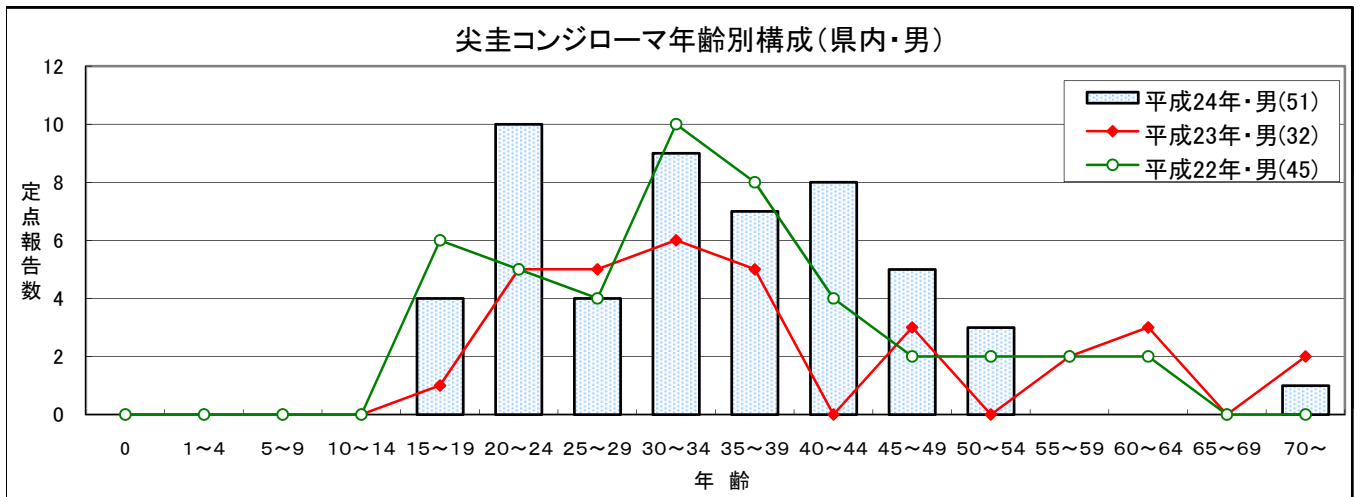


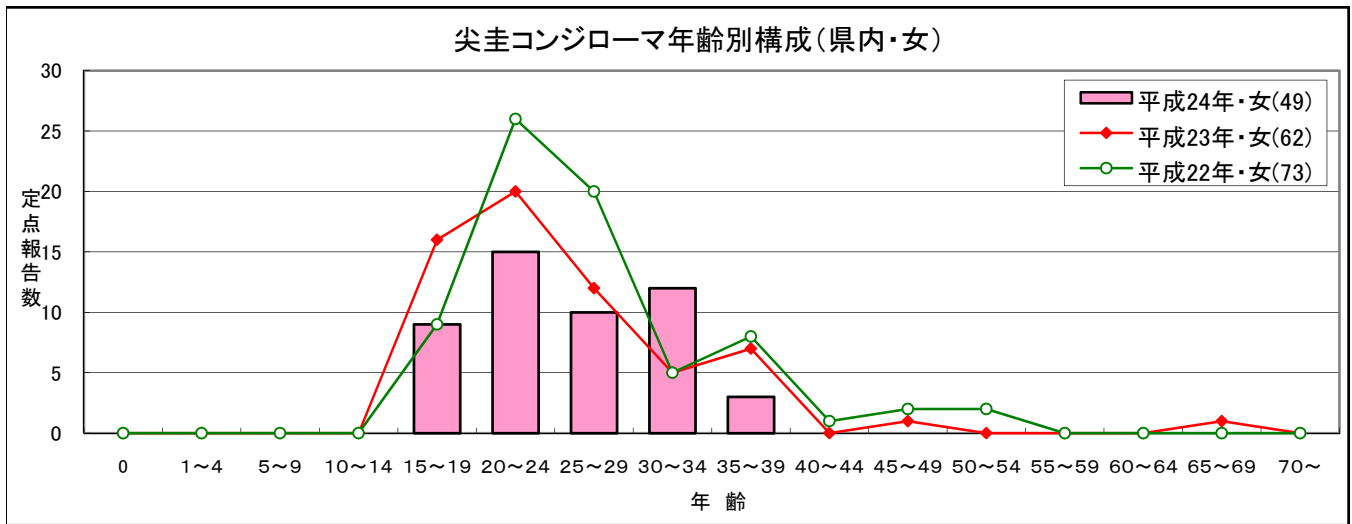
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(51)	3	3	4	1	6	6	6	3	3	4	8	4	51
平成24年・女(49)	2	2	1	5	7	4	7	6	6	3	2	4	49
平成24年(100)	5	5	5	6	13	10	13	9	9	7	10	8	100
平成23年(94)	10	7	8	7	13	5	8	8	13	7	4	4	94
平成22年(118)	7	7	11	7	11	14	13	12	13	11	6	6	118

平成22～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)

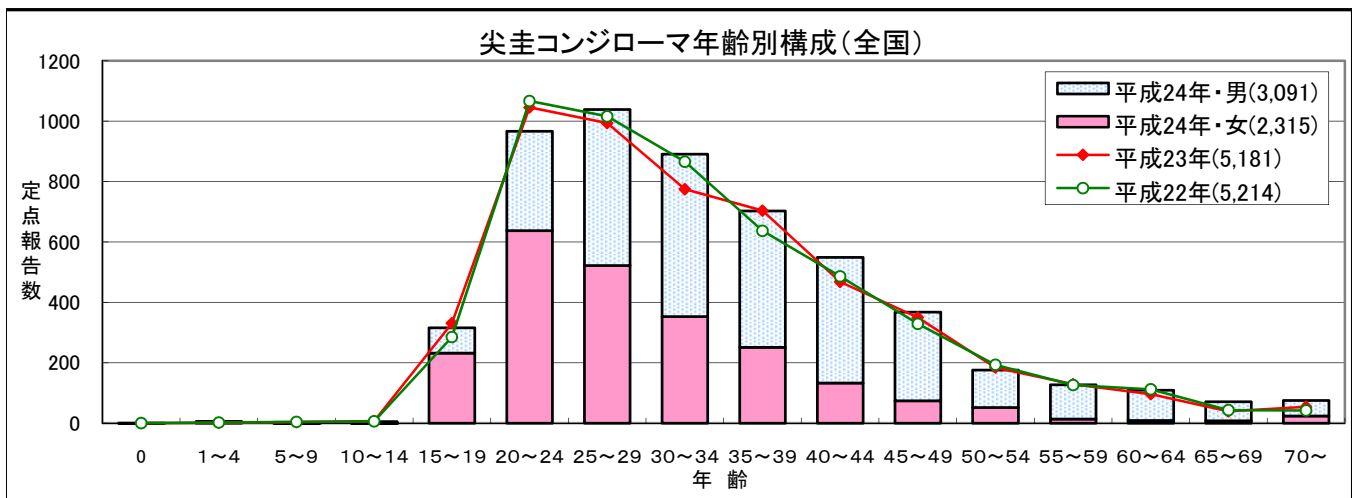


平成22～24年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

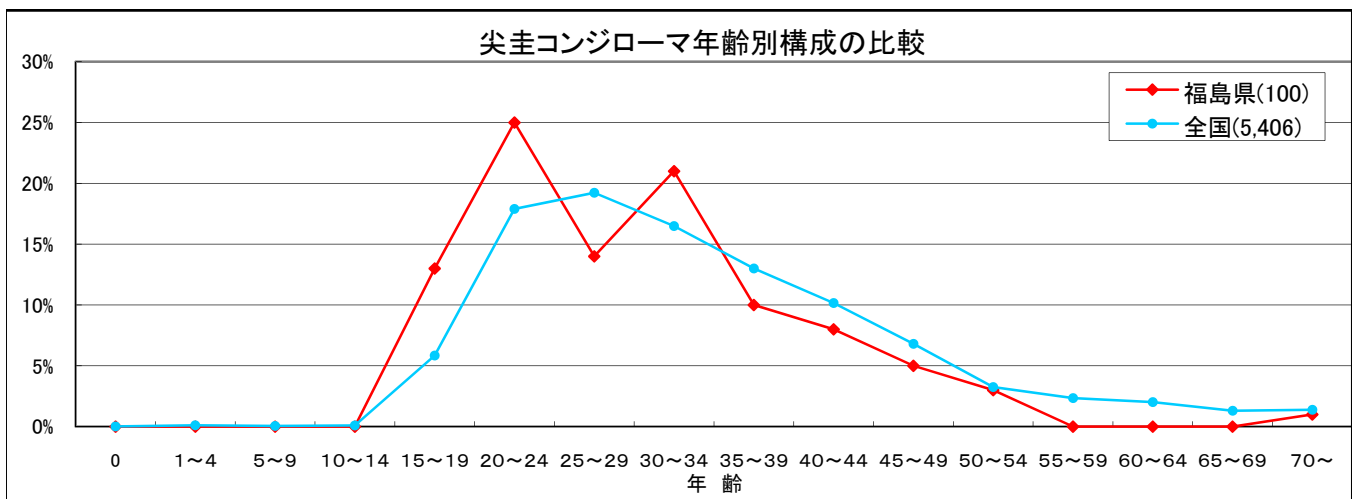




平成22~24年 全国の年齢別構成(1月~12月)



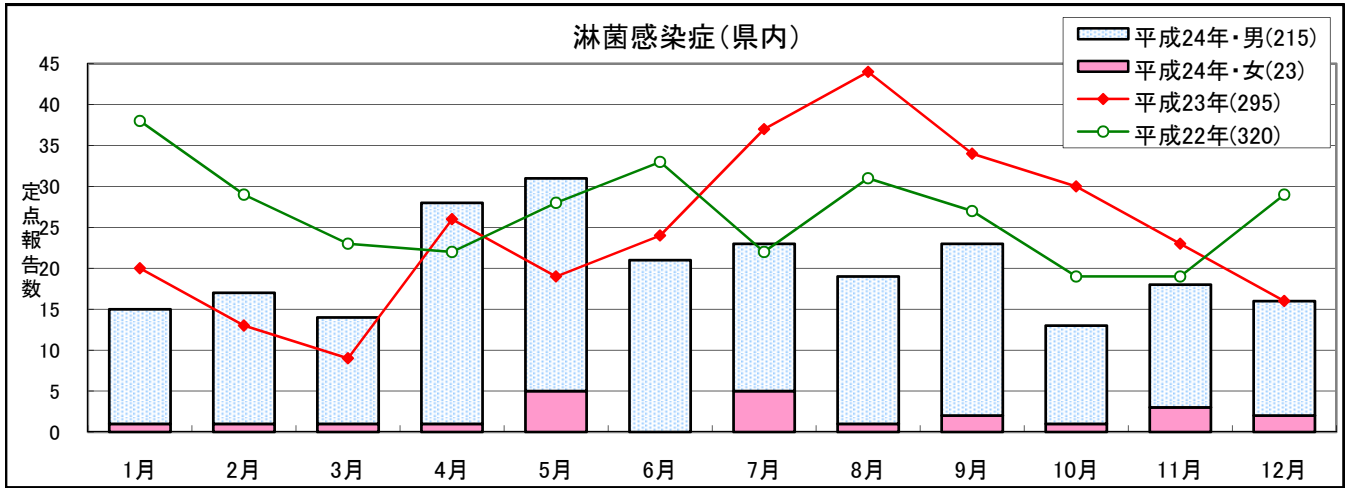
平成24年 年齢別構成の比較(1月~12月)



尖圭コンジローマコメント

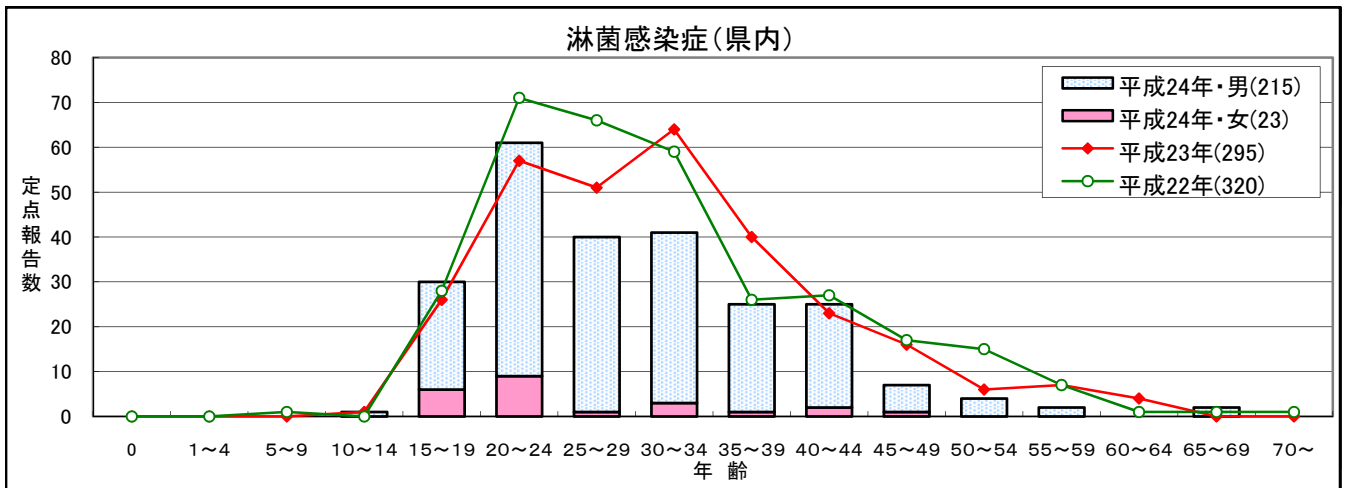
平成24年10月~12月のSTD定点からの患者報告数は、25名でした。
 県内の男女別年齢別構成の比較では、20~24歳、30~34歳の患者が多くなっています。
 また、全国との年齢別構成の比較では、15~24歳、30~34歳の患者の占める割合が高くなっています。

淋菌感染症

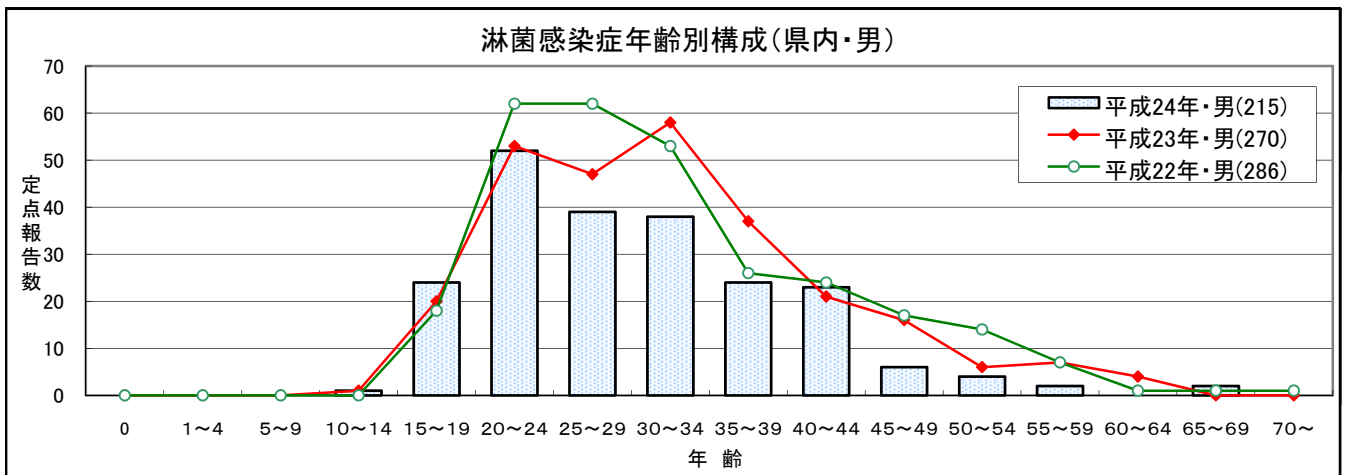


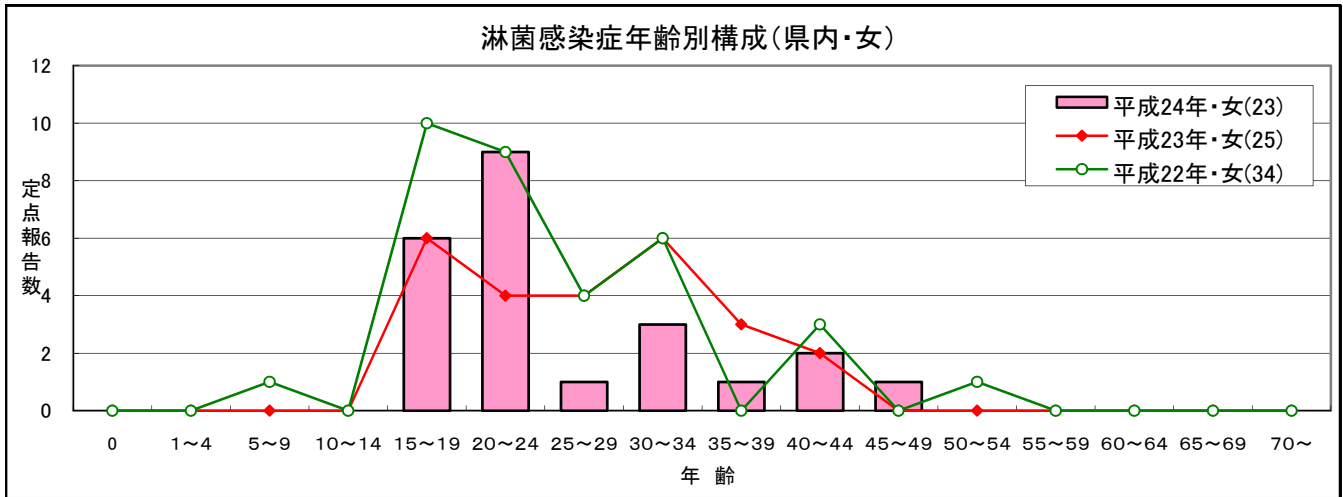
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年・男(215)	14	16	13	27	26	21	18	18	21	12	15	14	215
平成24年・女(23)	1	1	1	1	5	0	5	1	2	1	3	2	23
平成24年(238)	15	17	14	28	31	21	23	19	23	13	18	16	238
平成23年(295)	20	13	9	26	19	24	37	44	34	30	23	16	295
平成22年(320)	38	29	23	22	28	33	22	31	27	19	19	29	320

平成22～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)

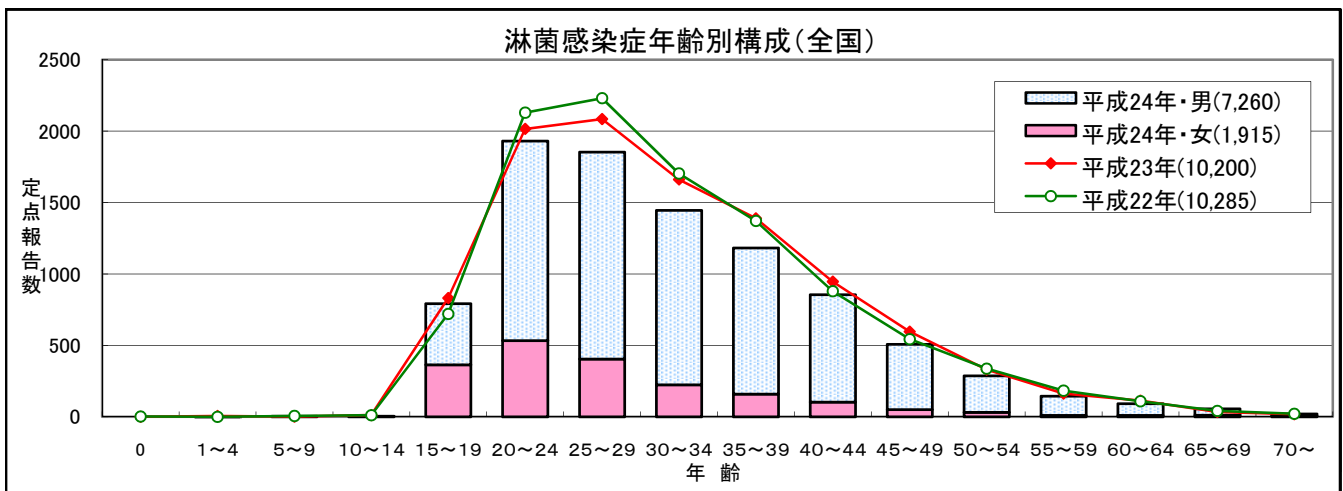


平成22～24年 男女別年齢構成の比較(1月～12月)

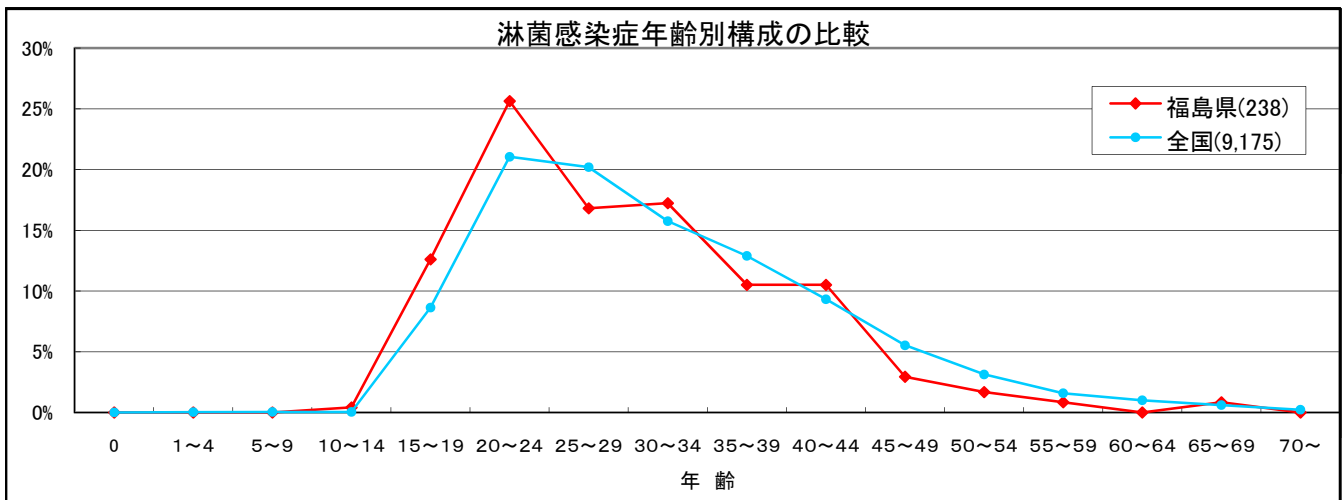




平成22~24年 全国の年齢別構成(1月~12月)



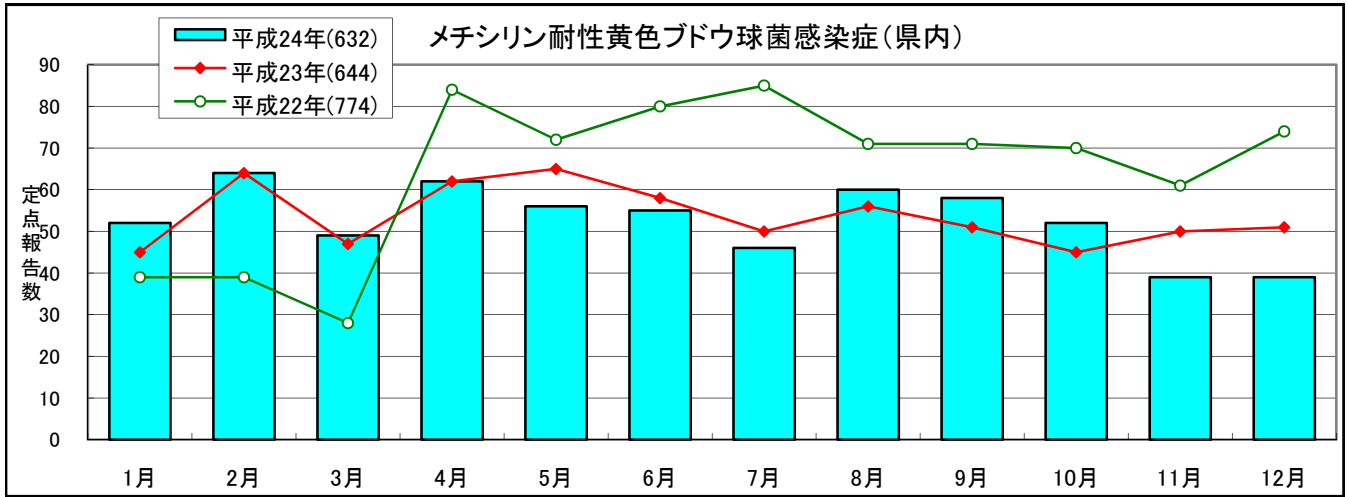
平成24年 年齢別構成の比較(1月~12月)



淋菌感染症コメント

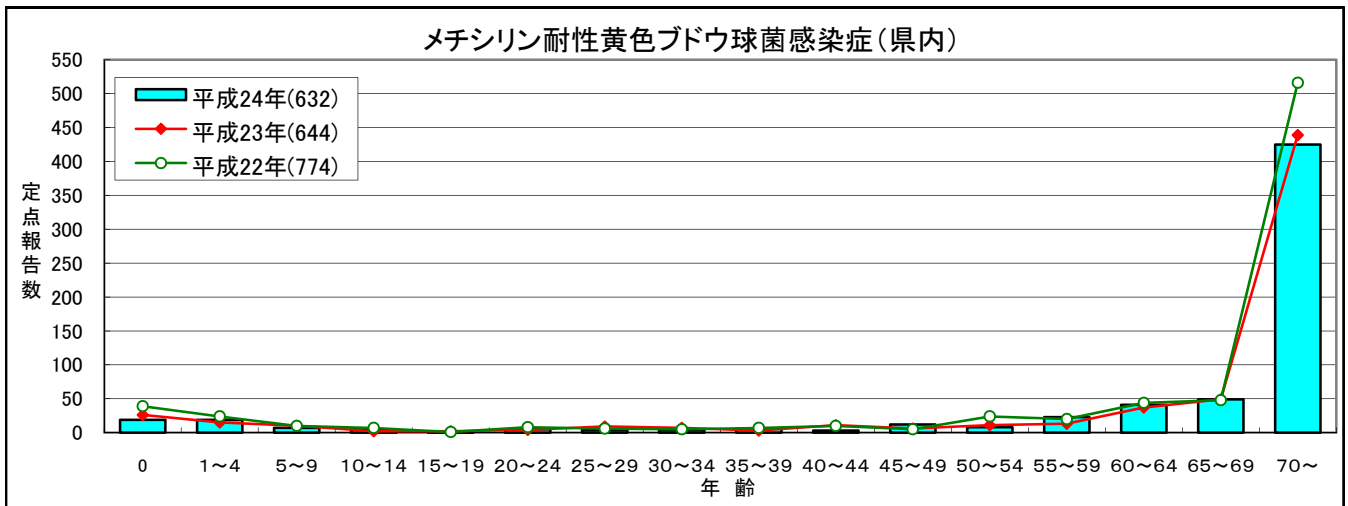
平成24年10月~12月のSTD定点からの患者報告数は47名でした。
 県内の男女別年齢別構成の比較では、男20~34歳の患者が多くなっています。
 また、全国との年齢別構成の比較では、15~24歳の患者の占める割合が高くなっています。

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

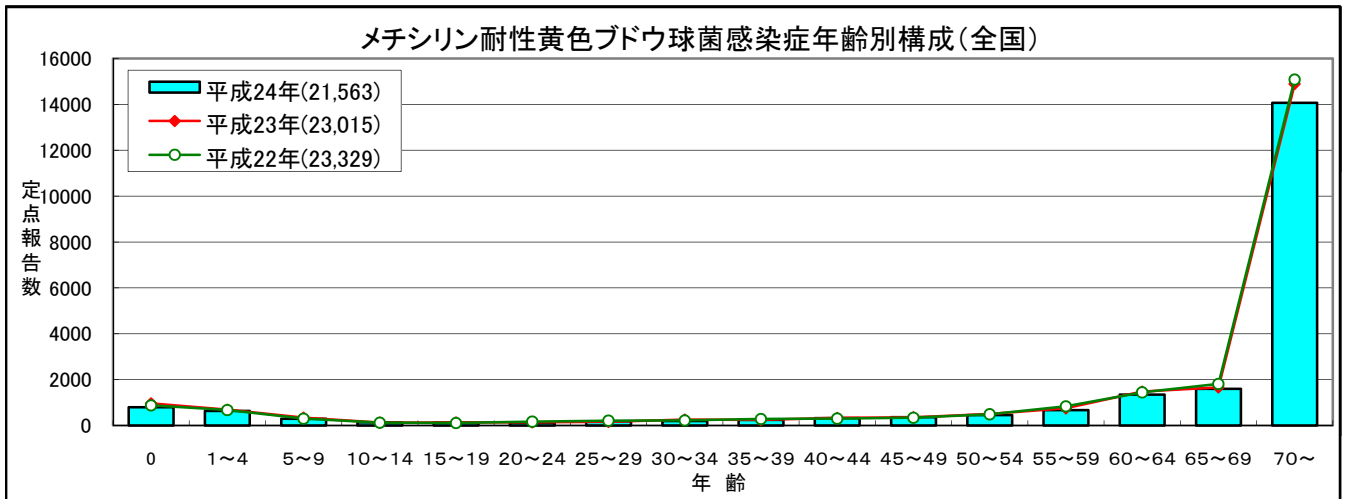


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(632)	52	64	49	62	56	55	46	60	58	52	39	39	632
平成23年(644)	45	64	47	62	65	58	50	56	51	45	50	51	644
平成22年(774)	39	39	28	84	72	80	85	71	71	70	61	74	774

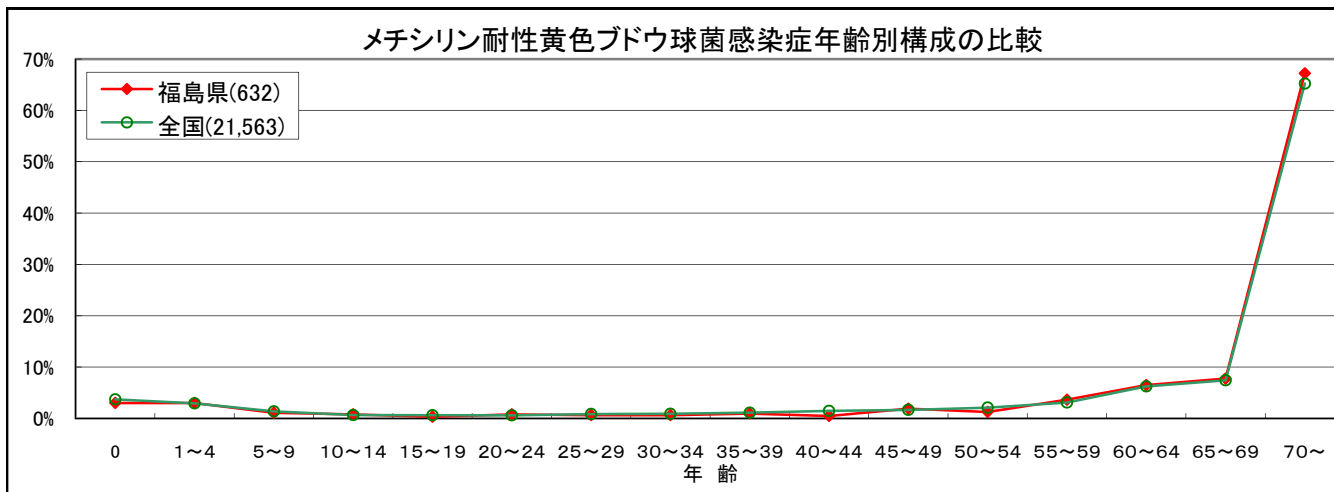
平成22～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)



平成22～24年 全国の年齢別構成(1月～12月)



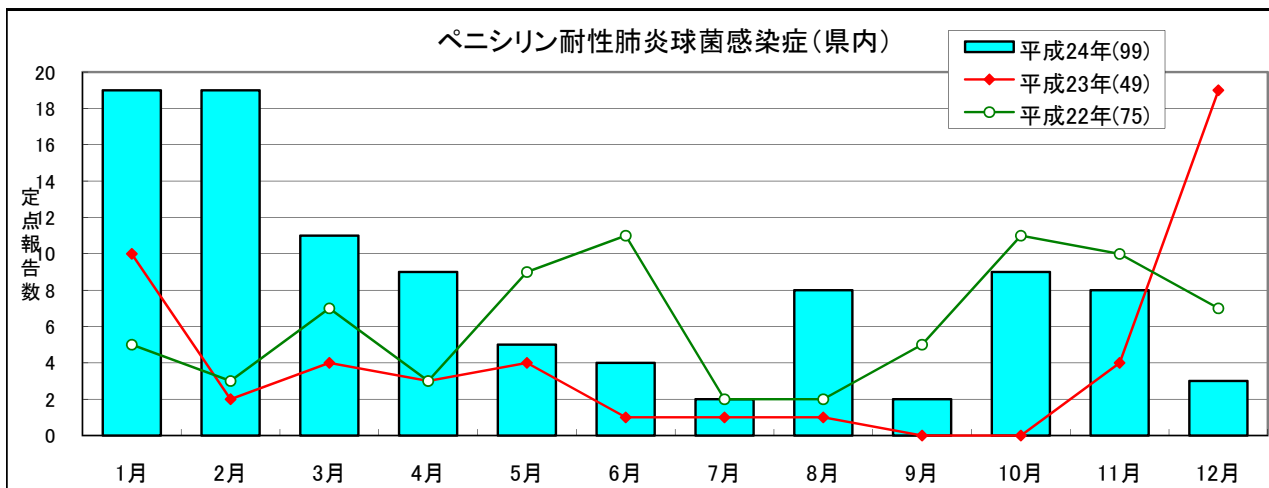
平成24年 年齢別構成の比較(1月～12月)



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症コメント

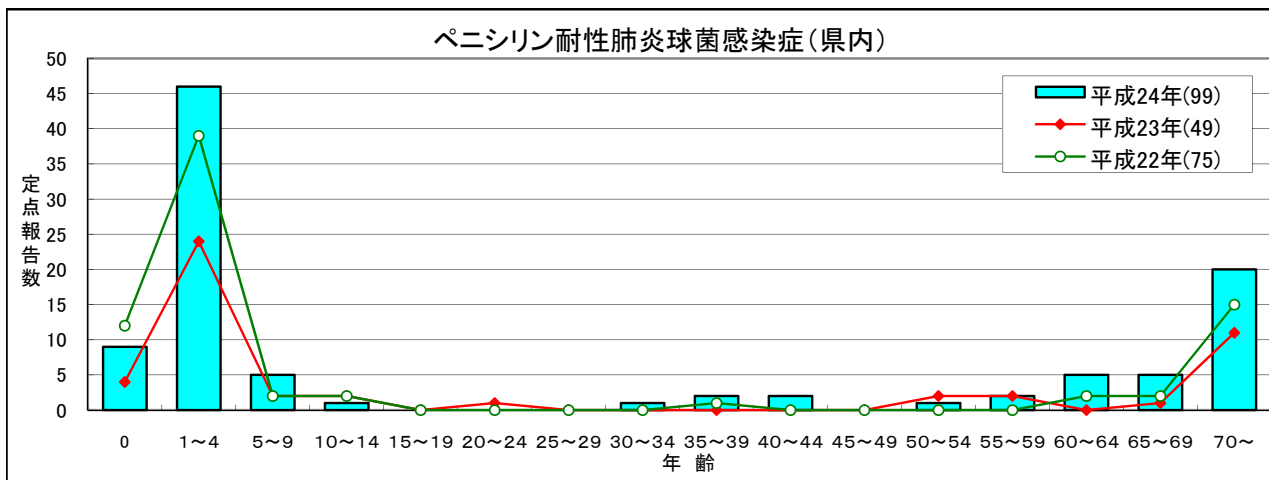
平成24年10月～12月の基幹定点からの患者報告数は、130名でした。
全国との年齢別構成の比較では、全国とほぼ同様の報告となっています。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

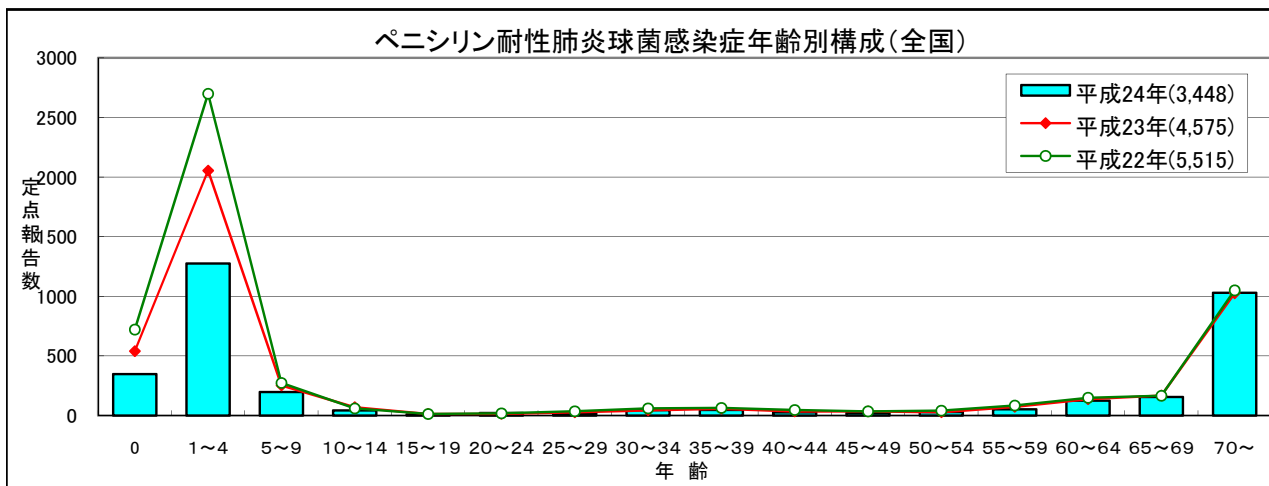


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(99)	19	19	11	9	5	4	2	8	2	9	8	3	99
平成23年(49)	10	2	4	3	4	1	1	1	0	0	4	19	49
平成22年(75)	5	3	7	3	9	11	2	2	5	11	10	7	75

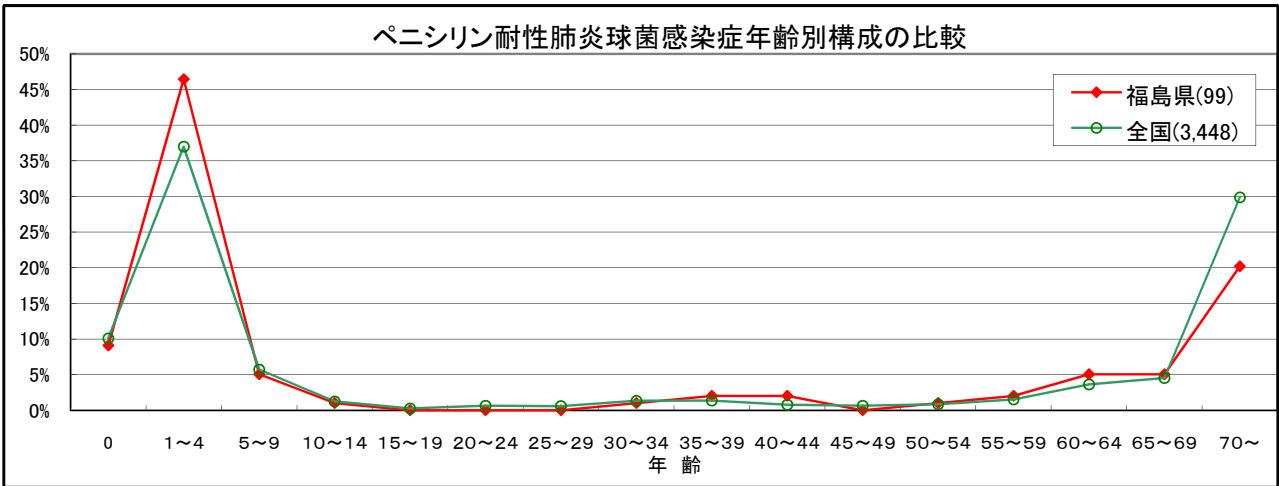
平成22～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)



平成22～24年 全国の年齢別構成(1月～12月)



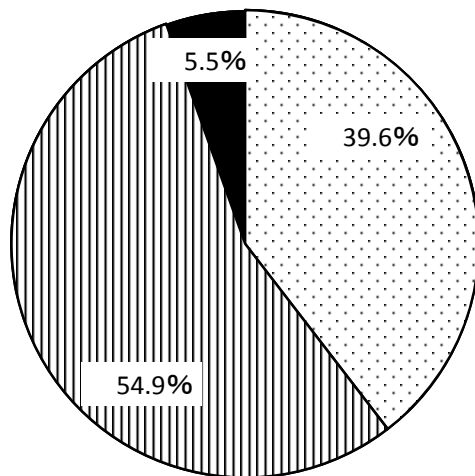
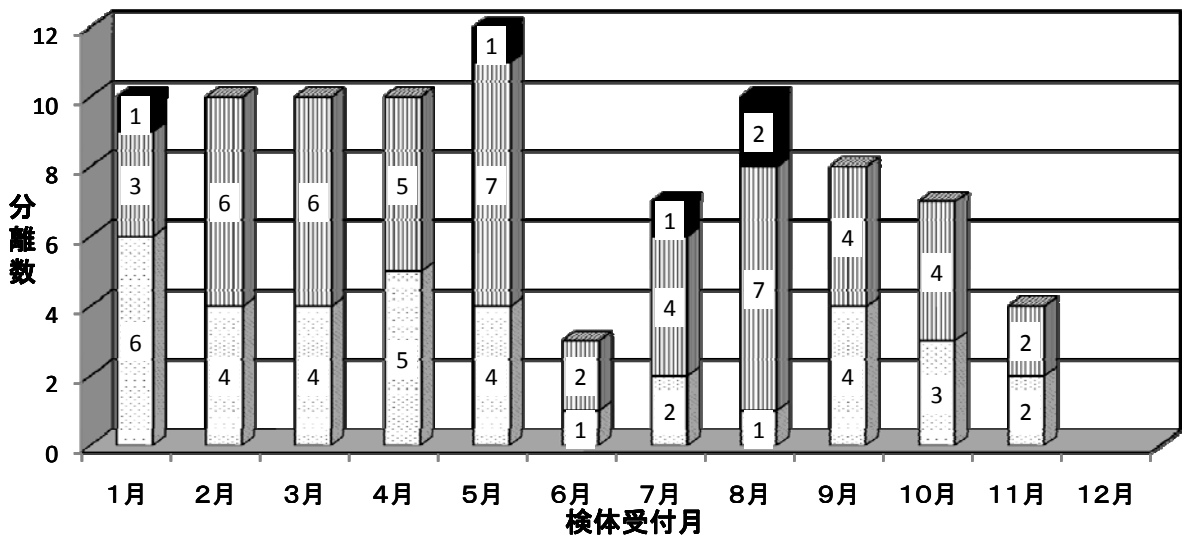
平成24年 年齢別構成の比較(1月～12月)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症コメント

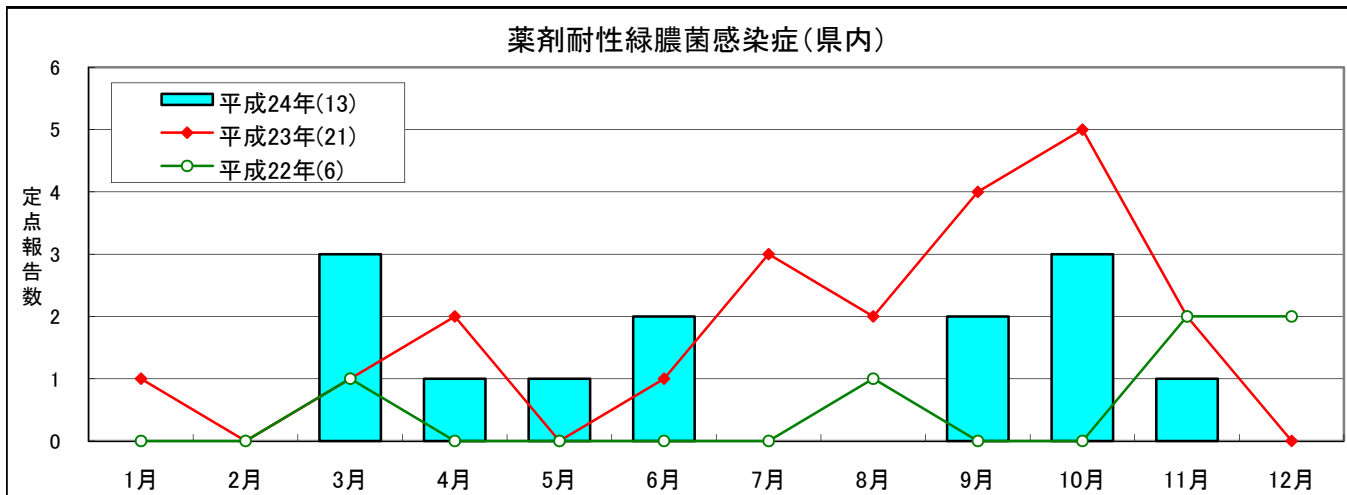
平成24年10月～12月の基幹定点からの患者報告数は、20名でした。
 全国との年齢別構成の比較では、1～4歳の患者の占める割合が高くなっています。
 また、基幹病原体定点からの肺炎球菌の分離状況は記載の通りです。

肺炎球菌月別分離状況



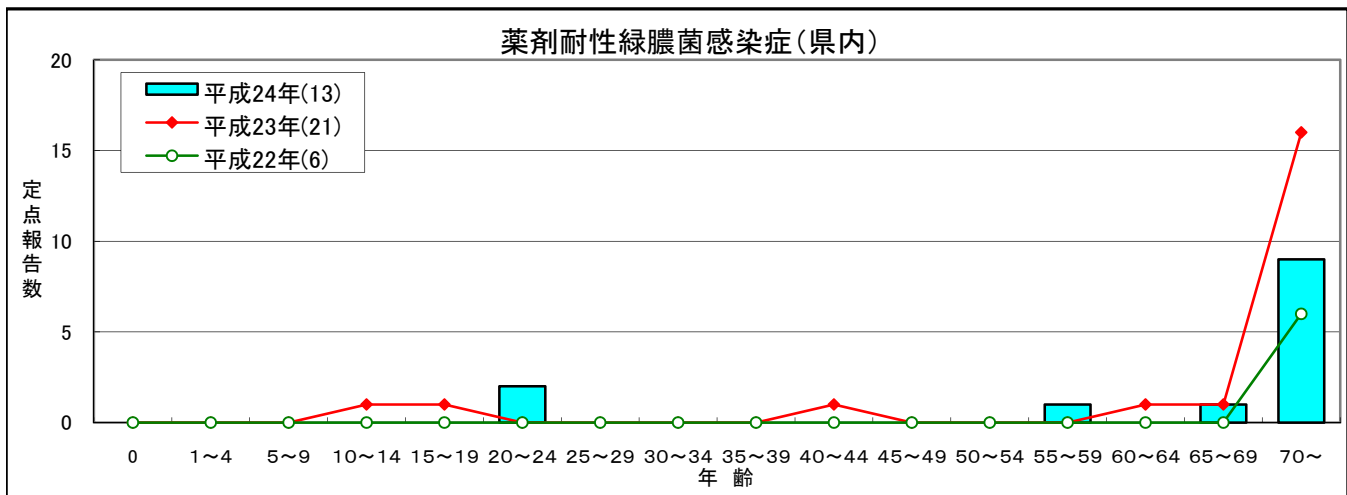
- ペニシリン感受性肺炎球菌 (5)
- ▨ペニシリン中等度耐性肺炎球菌 (50)
- ペニシリン耐性肺炎球菌 (36)

薬剤耐性緑膿菌感染症

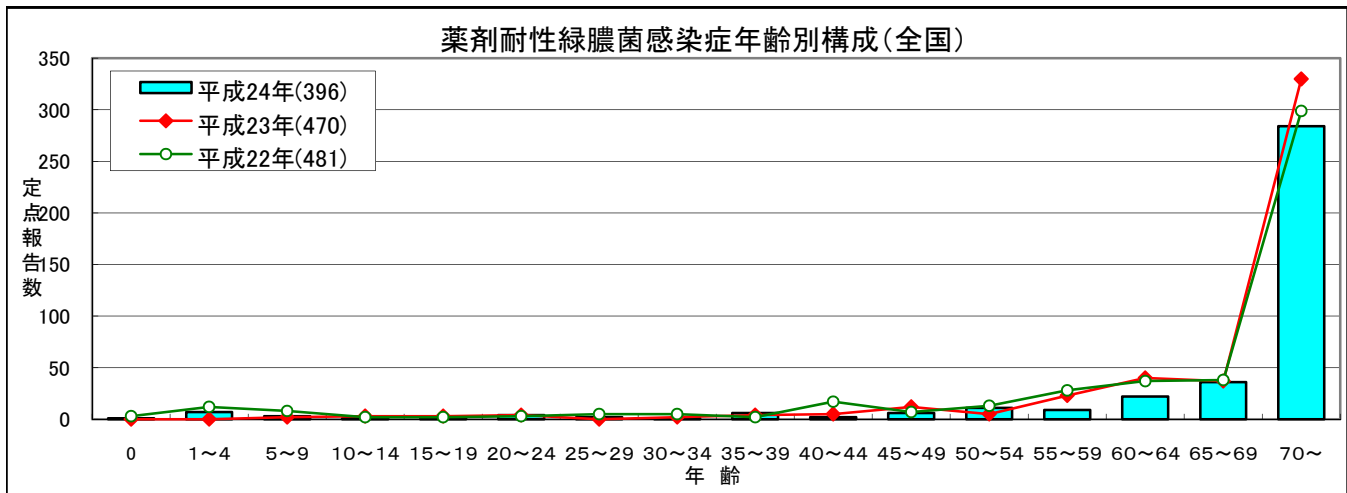


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(13)	0	0	3	1	1	2	0	0	2	3	1	0	13
平成23年(21)	1	0	1	2	0	1	3	2	4	5	2	0	21
平成22年(6)	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	6

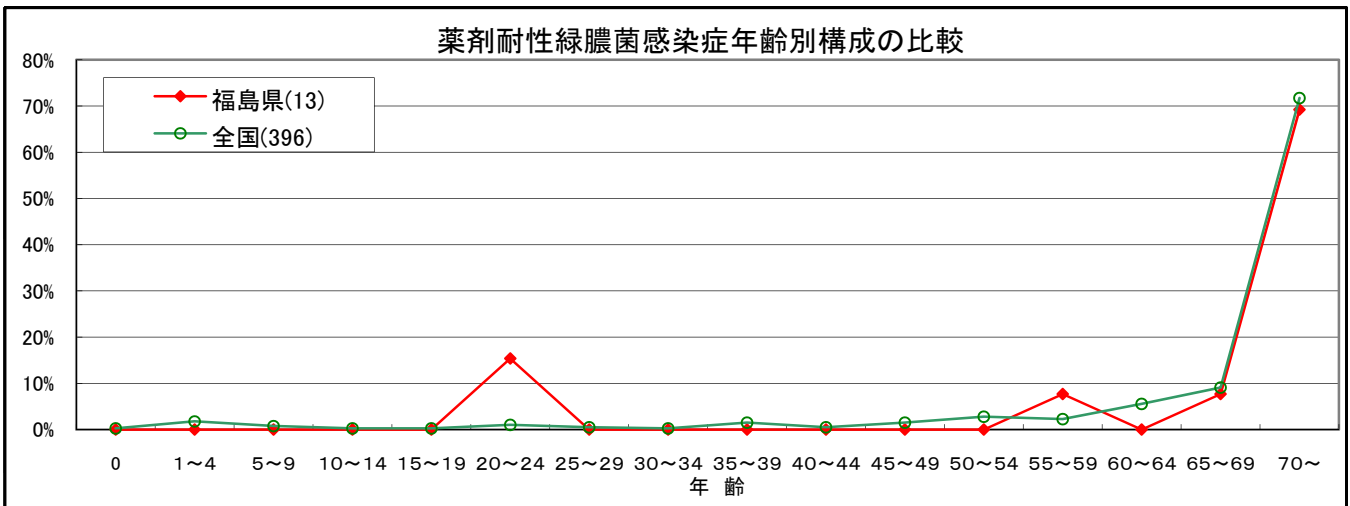
平成22～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)



平成22～24年 全国の年齢別構成(1月～12月)



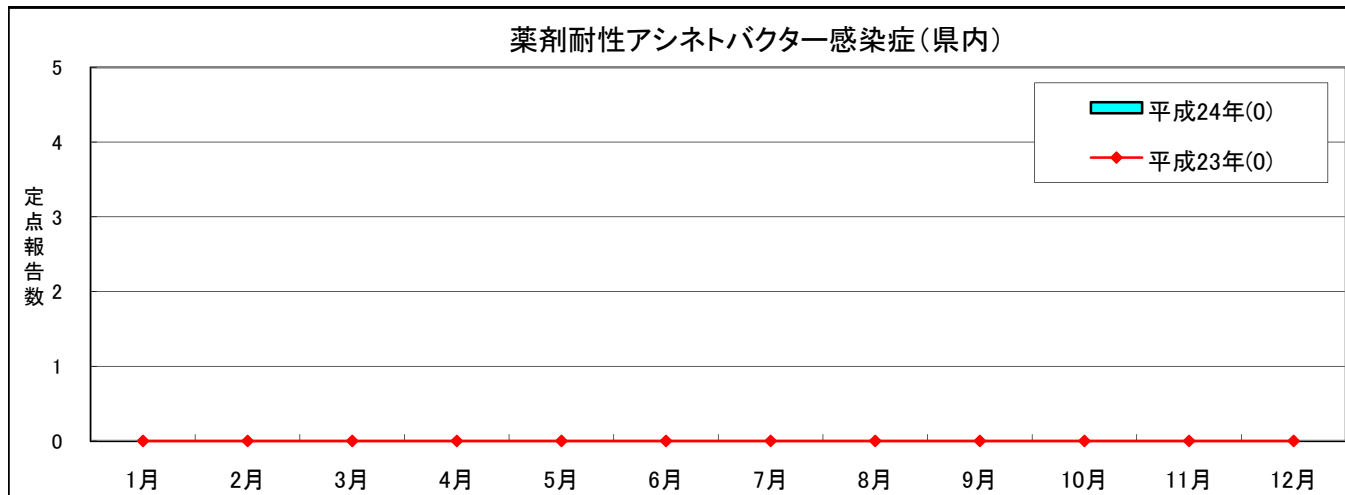
平成24年 年齢別構成の比較(1月～12月)



薬剤耐性緑膿菌感染症コメント

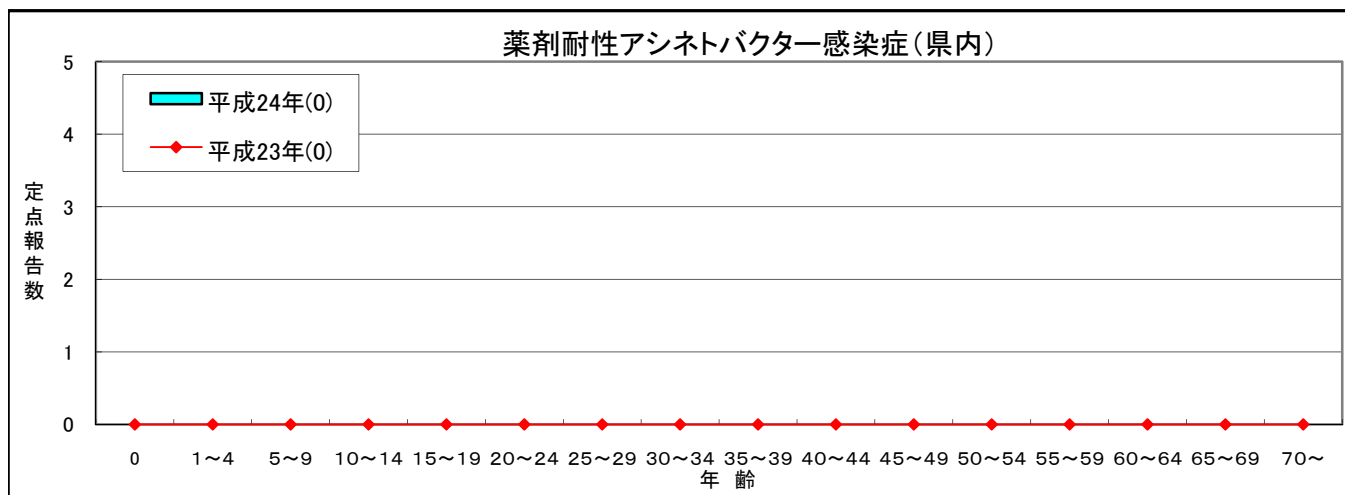
平成24年10月～12月の基幹定点からの患者報告数は、4名でした。

薬剤耐性アシネトバクター感染症

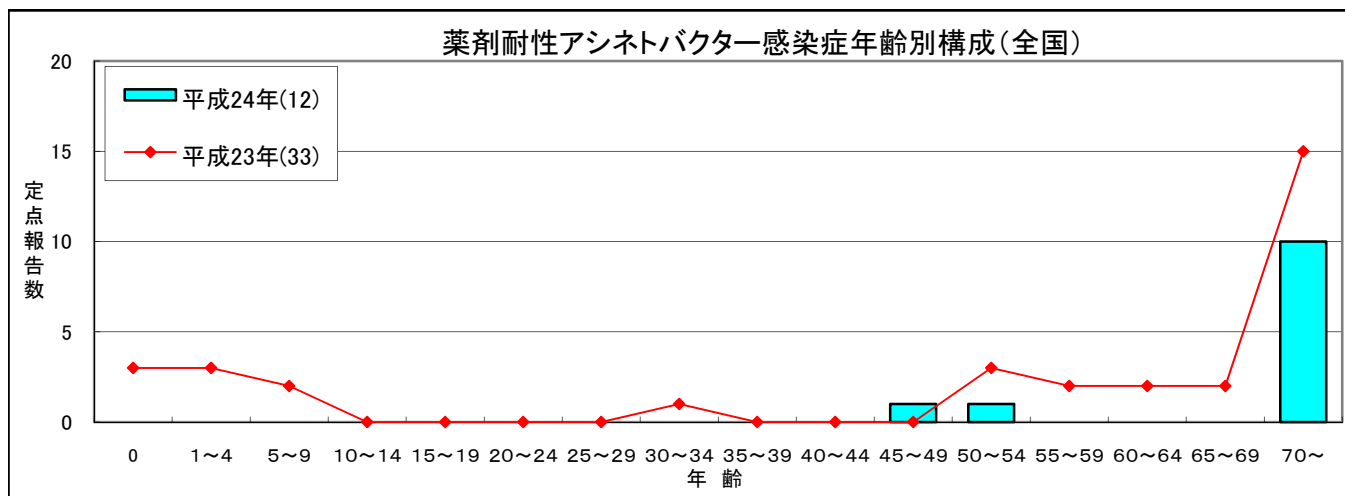


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成24年(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成23年(0)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

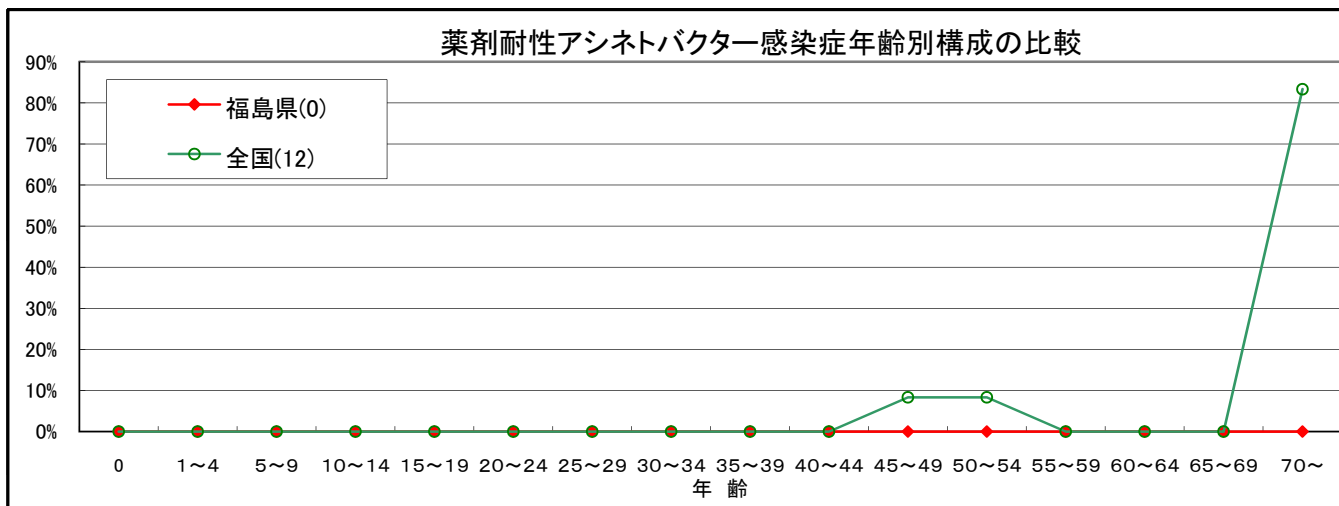
平成23～24年 県内の年齢別構成(1月～12月)



平成23～24年 全国の年齢別構成(1月～12月)



平成24年 年齢別構成の比較(1月～12月)



薬剤耐性アシネトバクター感染症コメント

平成24年10月～12月の基幹定点からの患者報告はありませんでした。

◎ウイルス同定数(平成24年10～12月検体搬入分)

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	合計
検体搬入数	23	140	15	3			53	32	266
インフルエンザウイルス A(H3)		2						4	6
アデノウイルス 1型	1								1
アデノウイルス 2型		1							1
アデノウイルス 4型		1							1
アデノウイルス 6型							1		1
アデノウイルス 31型							1		1
コクサッキーウイルス A型	1	9					3	6	19
エコーウイルス 6型	3	3					4	1	11
エコーウイルス 7型		1					1		2
エコーウイルス 9型	1	1					2		4
エンテロウイルス 71型	1	3						3	7
RSウイルス A		12	14						26
RSウイルス B	1	2							3
ノロウイルス GⅡ		10					1	2	13
サポウイルス GⅠ								1	1
ライノウイルス	1	8	2				2	1	14
単純ヘルペスウイルス 1型	1	1							2
ヘルペスウイルス 4型		1						1	2
ヘルペスウイルス 5型	1	1						2	4
ヘルペスウイルス 7型								1	1
同定ウイルス 合計	11	56	16	0	0	0	15	22	120

◎細菌同定数(平成24年10～11月検体搬入分)

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	合計
検体搬入数		13					19		32
A群溶レン菌		1					1		2
B群溶レン菌		2							2
インフルエンザ菌							7		7
黄色ブドウ球菌		1							1
クレブシエラニューモニエ		1							1
ペニシリン耐性肺炎球菌							5		5
ペニシリン中等度耐性肺炎球菌							6		6
クロモバクテリウム属菌		1							1
同定細菌 合計	0	6	0	0	0	0	19	0	25

感染症月報 平成25年 1月号 平成25年 1月30日 発行

発行 福島県衛生研究所 感染症情報センター

〒960-8560 福島市方木田字水戸内16-6

FAX : 024-546-8364

URL : http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=10758

E-mail : eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

(福島県衛生研究所・総務企画課)

本報は、感染症法に基づくものであり、県内の定点医療機関、保健福祉事務所、中核市保健所の御協力を得て分析・提供するものです。